

松下政経塾塾長 こうちやま てつろう 河内山 哲朗

プロフィール

- 1958年6月 山口県生まれ
- 1981年3月 早稲田大学法学部卒
松下政経塾入塾（第2期生）
- 1993年2月 柳井市長就任
山口県市長会会長
全国市長会副会長
厚生労働省社会保障審議会委員など
- 2009年3月 退任
- 2010年12月 社会保険診療報酬支払基金理事長就任
- 2016年4月 公益財団法人松下政経塾塾長就任



著作

「民に聞け - 地方からこの国を変えてみせる」

専門

地方行政 行政・行政改革 道州制 医療保険制度

新しい国をつくろう

第2期生として入塾し、松下幸之助翁の、「日本を救い、世界を救い、人々を幸福にする実践者たれ」という指導を受け、市長16年間、医療を支える国の機関の理事長5年半、公的機関のマネジメントの仕事をしてきました。経営感覚を行政に取り入れるべく懸命に努力してきました。塾主の期待に十分にお応えしたとはいえませんが、足らざるところは卒業生全員の力を借りて、国家百年の安寧に尽くす有為の人材を育てていきたいと考えています。

また、松下幸之助塾主は、塾で学んだものだけではなく、各界の指導者にも大きな影響を与えてきました。例えば、小淵恵三元総理は、松下翁から影響を受けたとして国会で「富国有徳の国づくり」を提唱しました。塾主の現場で考えた知恵こそが松下政経塾の財産です。塾主の弟子としてその理念や思想を、現代に生かすべく社会に向かって積極的に情報発信もしてまいります。

「松下政経塾」とは、パナソニックの創業者・松下幸之助が設立した未来のリーダーを育成する公益財団法人です。その原点は、「物と心の繁栄を通じて、平和で幸福な社会を実現したい」と願う強い思いでした。理想社会のビジョンを作り、その実践者になるために、未来のリーダーたちが、自修自得・現地現場で研修します。政治家、企業経営者、社会企業家、教育者、研究者等さまざまな分野で活躍するリーダーを輩出しています。